

寮生の声

東京興譲館の寮生は、寮生活を通しての感想や、後輩への入寮勧誘のメッセージを書いています。また、仙台興譲館に4月に入寮した寮生は、これからの大学生活の抱負や寮生活への期待の気持ちを書いています。(令和4年7月)

東京興譲館寮生

Aさん(4年生)

寮生活4年です。寮生活での利点、得たものは多数あります。

第一に朝夕2回、バランスよい美味しい食事ができることです。又新入寮生歓迎コンパ、卒業生追出しコンパ、クリスマス会など、寮生皆が楽しめるイベントが多く、沢山の思い出が作れます。コロナ過でも感染に充分注意しながら行いました。上級生・下級生の別なく日々生活していく中で、寮生活で得た様々な経験は大学在学中だけでなく、社会に出てからも大いに役立つと思います。特にここ2、3年のコロナ禍で学園閉鎖、Zoomでの授業等キャンパスに行けず友人とも会えない中、寮内では仲間との会話ができて精神的な孤独感等から救われました。

ここで書いたことだけでなく、寮に入ってみて初めて分かる楽しさや良さなどもたくさんあります。寮の名前が「興譲館寮」なので興譲館卒業生の寮と思っている方がおられるかもしれませんが、全く関係ありません。三市五町置賜地区そして山形地区外多方面の卒業生が入居しています。共同生活(団体生活)に不安を感じる人もいるかと思いますが、先輩方をはじめ寮母さんなど全員が協力し合ってサポートしていくのが興譲館寮なので心配しなくて大丈夫です!

ぜひ東京興譲館寮と一緒に寮生活を送り学園生活を謳歌しましょう。

Bさん(新入寮生)

最初に寮生活と聞くと、すごく不安に感じるかもしれませんが、実際自分がこの東京興譲館寮に入寮して感じたことは、すごく居心地が良いということです。例えば先輩の雰囲気だったり寮母さんのご飯だったり。東京興譲館寮は完全個室でプライバシーが保護されており、家賃も高くないのですごくお勧めです!すぐ仲良くなれるし先輩方も優しいので楽しいです!寮の場所も駅からは少し歩くけど、近くに商店街やホームセンターがあるのでとても便利です。一人暮らしを考えている方はここに入ることをお勧めします!

Cさん（新入寮生）

電気通信大に入学したと同時に、興譲館寮に入寮しました。東京に進学する際に、先生や友達に興譲館寮というものがあると教えてもらい入寮を決めました。寮生活を通して先輩の存在は初めて東京に来た私にとっては大きかったです。寮生には同じ大学に通っている先輩がいて、大学についていろいろ聞くことが出来ました。生活の面では、平日は寮母さんが朝夕食事を作ってくれるので食事の心配なく勉学に励むことができます。又近くにスーパーやショッピングセンターがあり、必要なものがあればすぐに買いに行くことが出来ます。駅も歩いて10分程の所にあり、雨の日等はよく電車で通学（通常は自転車）しています。

私は一人暮らしが初めてで不安もあったのですが、同郷の方々がいる興譲館寮に決めました。是非皆さんも来てください！

仙台興譲館寮生

杉山 綾汰

野球部入部と将来の目標

この春から米沢有為会仙台興譲館に入寮しました、東北大学工学部材料科学総合学科1年の杉山綾汰です。入学、入寮から約2ヶ月が経ち、仙台の街にも慣れ、充実した大学生活・寮生活を送っています。

私は今、自転車で5分ほどかけて東北大学川内キャンパスに通っています。一年の前期の段階では教養科目が中心で、今後の自分の専門分野の研究に向けて基盤となるような知識や学力を身につけようと勉学に励んでいます。私の履修している科目はほとんどが対面授業であり、未だ新型コロナウイルスの影響で多少の制限はありつつも、大きな支障は無く、満足のいく学びを得ることができています。また、部活動やサークル活動も同様に、大きな制限なく行われており、学習以外の面でも充実した生活を送ることができています。私は4月に学友会準硬式野球部に入部しました。週4回キャンパス内で練習を行っており、つい最近までは春季リーグ戦で他大学との試合も行っていました。サークルに所属するよりも多少ハードな生活にはなりますが、高校まで続けてきた野球を大学でも続けたいという思いがあり、また、試合での勝利を目指した、本気度の高い環境に身を置いて野球に打ち込みたいと思い、入部を決意しました。自分と同じ



ような志を持つ仲間と楽しく、熱く活動できています。高校の時のような情熱を持って野球ができる環境に幸せを感じています。

興譲館寮ではとても快適な毎日を過ごすことができます。実家から離れて暮らすことに対して不安がある中、朝、夜に栄養価の高い美味しい寮母さんの料理を食べたり、地元が近い先輩方の近くで生活したりすることができるのはすごく大きいです。大学や仙台中心部にも近く、とても生活しやすいです。環境が整っているので、学習にも集中することができます。

まだ大学生活が始まったばかりですが、私には大きな目標が二つあります。一つ目は、4年生の研究室配属の時に、金属研究所の研究室に配属することです。東北大学の金属研究所は、材料工学において、国内ではもちろんのこと、世界で見てもトップクラスの研究実績を誇っています。世界トップクラスの環境に身を置いて、自分の興味のあることをとことん研究したいという強い思いがあります。また、様々なものの基盤となっている金属材料を研究することで、材料分野から諸環境問題にアプローチしたいという思いもあります。金属研究所配属に向けて、専門教科を中心として、1年生のうちから、志を高く持って勉学に励んでいきたいと思えます。二つ目は、在学中に準硬式野球東北地区一部リーグで優勝し、全国大会に出場することです。東北大学はここ数年、全国大学出場から遠のいています。まずは自分の技術を向上させ、全国レベルの実力を身につけることを目標にして日々の練習に励み、それからチーム全体に良い影響を与えられるように、行動で示せる選手を目指していきたいと思えます。

菅桜太郎 大学・寮に入って今後の決意

皆様はじめまして。東北大学経済学部 1 年の菅桜太郎です。拙い文章ではありますが、仙台での生活についていくつか書かせて頂きたいと思えます。

まず私は念願であった東北大学に合格し将来への期待感が高まる一方で新生活に対する一抹の不安も抱いていました。しかしその不安は杞憂だったようです。仙台の街は大都市にしては緑が多いという話は聞いていましたが実際にその通りで、寮がある角五郎も近くを川が流れ、緑が多くあるという環境でストレスなく生活することが出来ています。更に寮の皆さんにも非常に良くしてもらっています。例えば寮母さんには朝夕と美味しいご飯を作ってくださいなど様々な場面で配慮していただいております、とても感謝しています。

また私自身、長井高校出身で寮生の中に先輩が居なかったことも不安要素の1つだったのですが、先輩方からコミュニケーションを取って下さる場面が多くあって置賜人の温かみを改めて実感することとなりました。現在の社会情勢

の影響で制約を受ける場面こそありますが、総じて私は仙台興譲館寮に入寮することが出来て本当に良かったと思います。

そして肝心の大学生活についてですがようやく生活リズムにも慣れてきました。最初は受動的な学習を行ってきた高校と本人の主体性が求められる大学とのギャップに戸惑いがありましたが、2ヶ月間で何とか適応出来てきました。また陸上部に入部し、最近はとても充実した大学生活を送ることが出来ています。その中で私が大学に入って1番実感したことは自分を律することが重要だということです。正直自分が想像していた以上に大学生には時間があります(文系学部は特に顕著に)。「大学は人生の夏休み」と形容されることがあるように確かに遊ぶなどして楽しんで良い期間なのかもしれません。しかし、だからこそその時間を如何にして自分の将来に繋げるための有意義な時間にするのか、高校時代に思い描いた大学生活にするのかを意識していきたいと思います。

私の大学生活での目標としては日本の社会構造を経済の観点から分析するというものがあります。また東北地方の中では最も優秀な人材が集まり、その人達と切磋琢磨したいという思いから東北大学に入学したので、掴み取ったチャンスを生かせるように努力していきます。最後になりますが、私は仙台興譲館寮という恵まれた環境で精一杯勉学にも部活にも励んでいきたいと思います。長い文章になりましたがここまで読んでいただきありがとうございました。

